

本校の地域連携・地域交流

富士吉田市立明見中学校

明見地区に根ざした教育の推進 ～ 平成3年台風12号明見地区災害から学ぶ ～

1. 目的と経緯

- ①明見地区の災害を知り、命の大切さや復興していく地域の人々の絆と力を学ぶ。
- ②平和を幅広くとらえ、身近で起きた自然災害の学習から、「身近にある平和とは何か」を考える機会とするため、10年以上行われている。

2. 内容

- ①明見在住の ふなくぼ ひで 舟久保 英 さんを講師にお迎えし、過去の台風災害と命の大切さや地域の人々の絆についてお話を伺う。
- ②関連して、明見出身で、世界の舞台で活躍しているアスリートを紹介していただき、自分の目標に向かって、一生懸命努力している先輩の姿から、「夢や目標」につながるキャリア教育の視点でお話を伺う。



3. 成果と課題

- 「災害は突然やってくる。準備しておけば助かること」、「てんでんこ という言葉から、自分の命は自分で守ることが、隣の人々の命を守ることに繋がること」を教えていただいた。
- 講話から、地域の温かさを感じ、生徒の学び（教員の学びにも）につなげられたこと。
- ▲学校と地域の連携により、「地域にある学校」の具現化につながることから、この取組を継続させることと、また今後、地域資源を意図的に教育課程に取り込むこと。

